

富山県

No.78 2016 年 1 月

中央植物園だより



第 18 回私の植物写真展入選作品「赤い春」 撮影 / 小鍛冶秀明さん

フリソデヤナギ（ヤナギ科）

ネコヤナギとバッコヤナギの雑種で、ネコヤナギの雄花序がやや暗い銀色の綿毛に覆われているのに対して、フリソデヤナギは赤味を帯びた綿毛に覆われることで区別されます。春に「ネコヤナギ」という名前で切花が流通しています。

第 12 回雪割草富山県大会のお知らせ

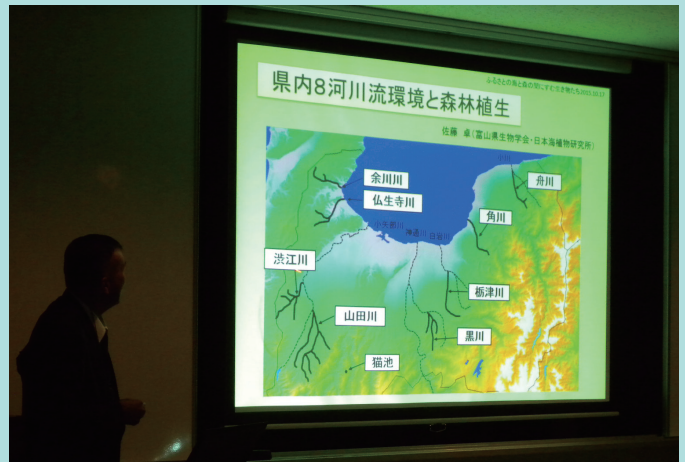


今年も 3 月 11 日（金）～ 13 日（日）に第 12 回雪割草富山県大会をサンライトホールにて開催します。富山雪割草の会会員の作品展示のほか、雪割草の苗の販売、12 日（土）と 13 日（日）にはドリ阿斯ホールにて、雪割草の栽培講習会を行う予定です。



TOYAMA 植物フォーラム 開催レポート

第35回全国豊かな海づくり大会関連イベントとしてまた富山県生物学会90周年記念大会を兼ねて、第23回TOYAMA植物フォーラム「ふるさとの海と森の間にすむ生き物たち」を10月17日（土）に開催しました。富山県生物学会で実施された県内の8つの小河川流域の総合調査結果について報告されました。富山県生物学会の南部久男会長から調査の概要についての説明があり、続いて以下のパネリストからそれぞれの専門分野についての報告がありました。佐藤 卓氏（植生）、石須秀知氏（植物相）、中田政司園長（水生植物）、布村 昇氏（無脊椎動物）、稲村 修氏（魚類）、福田 保氏（両生類・爬虫類）、後藤優介氏（哺乳類）。当日はおよそ60名が参加し、パネリストの発表後には、太田道人氏を座長に意見交換が行われました。



佐藤氏による森林植生の発表

植物園トピックス

①北陸新幹線各駅にエッチュウミセバヤを展示

開業後にぎわっている北陸新幹線の県内3駅に、10月中旬から、植物園で育成された富山県固有植物のエッチュウミセバヤが展示されました。さらに11月からの1ヶ月間は、富山ゆかりのサクラ‘コシノフユザクラ’も展示され、乗降客のおもてなしに一役買っています。



県内の北陸新幹線駅構内に展示されたエッチュウミセバヤ

②中央農業高校・小矢部園芸高校合同剪定実習を実施

10月27日に中央植物園のサクラ・ウメ園で中央農業高校と小矢部園芸高校の造園コースの2年生と3年生合計32名の生徒が、剪定の合同実習を行いました。大勢の来園者が見るウメを対象としたことで、皆緊張して取り組んでいました。春の開花時に出来ばえをご覧ください。



先生から作業についての説明を受けている両校の生徒



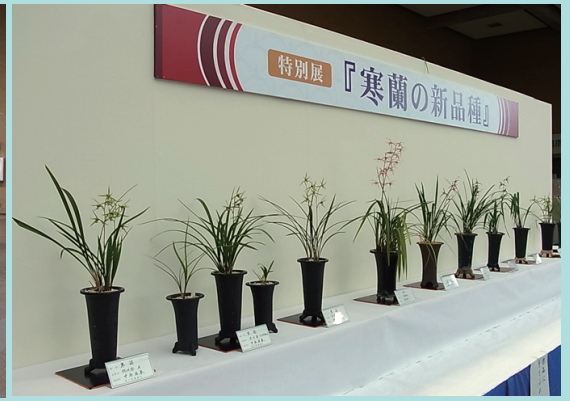
高い枝、低い枝それぞれ手分けして剪定

第9回秋のラン展 開催レポート

11月21日から23日の3日間、第9回秋のラン展が富山県蘭協会との共催で開催されました。今年は天候にも恵まれて暖かく、多数の入園者がありました。この時期に開花する寒蘭（カンラン）を中心に展示した会場のサンライトホールには上品な甘い香りが漂ってい



開会式で挨拶する富山県蘭協会岡田拓郎理事長



今年は寒蘭の新品種がメインの展示

研究紹介◎『亜高山帯のきのこ』

栽培展示課長補佐 橋屋 誠

私は植物園友の会きのこ部会のメンバーといっしょに、富山県内にどのような種類のきのこが生育しているかの調査を行っており、この一環として3年前から亜高山帯のきのこに重点を置いて調べています。

亜高山帯のきのこ調査は、北海道阿寒地域や山梨県富士山、石川県白山などで行われているだけで、全国的にもこの植生帯を調べた報告は少なく、富山県でも未調査でした。

2013年～2015年の3年間、黒部ダム奥の黒部川源流に近い奥黒部地域で調査を行い、ここでは北陸地域で初記録となるエゾサルノコシカケやムラサキイロガワリハツなどの標本を得ることができ、この結果は植物園の研究発表会や研究報告で紹介しました。今年度は奥黒部地域に加えて、有峰折立（1460m）から太郎山に登る登山路沿い（1870m）で調査を行っています。

折立からの登山路沿いは、オオシラビソやコメツガ、シラビソ、トウヒ、キタゴヨウ、カラマツなどの針葉樹にダケカンバが混ざり、下部には一部でブナやミズナラが見られます。きのこは関係を持つ樹木の種類と対応することが多いので、亜高山帯ではこれまで調べてきた平地や山地帯とは異なった

種類が多く見られます。

今年度の成果として、これまで中部以東の亜高山帯でしか知られていなかったツガノマンネンタケがコメツガの倒木から、またモミサルノコシカケがオオシラビソやコメツガの幹上から採集できました。この2種は富山県内の初記録になります。また日本で報告例のないと思われる種も見つかりました。これはコショウイグチ属の一種で、日本既知種のコショウイグチは、傘の裏の管孔面が橙褐色で肉に強い辛味があるのに対し、今回採集されたものは、管孔面が淡紅色で肉に辛味がないことから簡単に区別できます。今後このきのこの所属を調べたいと思います。

来年度からは、折立地域を中心に調査回数を増やし、多くの種類を確認するとともに、この地域での種による発生期の違いも合わせて調べたいと考えています。またこれまでに種同定できなかった標本は専門家のアドバイスを受けるなどして、ひとつずつ解明する予定です。



（左）折立からの登山路沿いにみられる亜高山針葉樹林

（中）富山県初記録となるツガノマンネンタケ（幼菌）

（右）日本新産のコショウイグチ属の一種

熱帯果樹室の紹介

熱帯果樹室は一昨年ごろから開花結実が著しく良くなりマカダミア、ゴレンシなどが次々と実をつけています。これは温室の担当者が試行錯誤を重ねて、剪定や施肥の時期を探り当てたことや、花粉媒介者に代わって人工授粉を行った努力が正に「実を結んだ」ものです。



剪定によって光環境が良くなり、多数の果実をつけたゴレンシとアラビアカーヒー。

平成9年に導入したバオバブは、今から8年ほど前に初開花し、ここ2、3年は毎年開花するようになりました。中央植物園のバオバブの花粉で京都府立植物園のバオバブに実がつけましたが、その逆の授粉では実が付きませんでした。花粉に相性があるのかもしれませんが。現在ほかのバオバブの花粉で結実を目指しています。



夜に開花するバオバブの花は翌日の午前中にもこのように観察することができます。右はつぼみ

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール
企画展には入園料が必要です。

干支にちなんだ植物

12月11日(金)～1月20日(水)

第3回新春カトレヤ展

1月8日(金)～1月11日(月)

平成27年度 研究発表展

1月22日(金)～2月17日(水)

第3回 クリスマスローズ展

2月19日(金)～2月21日(日)

第44回 富山県蘭まつり大会

3月4日(金)～3月6日(日)

第12回 雪割草富山県大会

3月11日(金)～3月13日(日)

企画展「海外に咲くサクラ」(仮題)

3月18日(金)～

■講座・講習会

★平成27年度研究発表会

1月24日(日)
13:00～16:00
会場 サンライトホール
入園料が必要です。

★栽培講習会

「クリスマスローズの栽培と管理」

2月20日(土)・21日(日)
13:30～15:00
会場 ドリアスホール
入園料が必要です。

★栽培講習会

「ランの栽培と管理」

3月5日(土)・6日(日)
10:30～12:00、14:00～15:30
会場：管理研修棟研修室

★栽培講習会

「雪割草の栽培と管理」

3月12日(土)・13日(日)
13:30～15:00
会場 ドリアスホール
入園料が必要です。

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00
集合場所／サンライトホール

★印は植物園ボランティアの養成講座です



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日

(4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円
団体料金(20名以上) 400円
高校生以下通年無料
冬期入園料(12月～2月)
大人(一般および大学生) 300円
団体料金(20名以上) 240円
高校生以下通年無料
年間パスポート(購入日より1年間有効)2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」経由速星行き(休日のみ)に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分